秀峰通信『啐啄』

No４７　　平成２３年３月７日（月）

秀峰一期生１９９名の卒業式を挙行しました！・・・１日（火）「１・２年生、一期生に続け！」

○新体育館での本校第一回の卒業式は、心に残る素晴らしいものだったとの感想をいろいろな方々からいただきました。秀峰一期生一人ひとりに卒業証書を授与しましたが、それぞれが、「秀峰で学んでよかった」「秀峰で学んだことを生かして、社会に出ても頑張ります。」という充実した嬉しそうな表情をしていました。これも、これまで彼らを育ててくださった多くの方々のおかげだと改めて感謝しているところです。式辞で話した　①出会いを大切にする②チャンスを生かす③自らを磨き続ける　を在校生も日頃から、心掛けて、一期生続く成果を上げていってほしいと思います。

１９９名に卒業証書授与

感謝の気持ち一杯の一期生

田代前生徒会長による答辞

日南振徳商業高等学校の閉校式が行なわれ、４１年の歴史に幕を閉じました。・・・２７日（日）

○２６日（土）には日南農林高等学校が、３月１日（火）には、日南工業高等学校が閉校しました。そのため、日南市の高校は、日南高等学校と日南振徳高等学校（本校と同じ総合制専門高校）の２校だけとなりました。２年後の平成２５年３月には、高原高等学校閉校することになります。

最後の生徒会長のことば

振徳商スローガンとして、

・挨拶の振徳　・風紀の振徳

・美化の振徳

を掲げ、地域社会に信頼され、期待される学校として発展向上してきた振徳商は、特に、最後の３年間は、生徒・教職員が心を一つにし頑張ったようです。

生徒代表３人による校旗収納

キャッチフレーズとして、「未来に残そう　伝え築いた　振徳商業」、「目指せ　三種目　日本一」を掲げ、最後の年には、県の商業に関する４つの競技会のうち、珠算・電卓、ワープロ、簿記の３部門を制覇するという本県初の快挙も成し遂げました。また、全商検定三種目以上においても、取得率が86.7%の高率をあげ、全国でもトップ級となり、有終の美を飾っています。意欲的に取り組めば、成果を上げることができることを示してくれました。秀峰一期生も頑張りましたので、それに続く本校生もこれ以上の成果を上げるべく頑張っていってほしいと思います。

食品加工棟の工事が、３月中旬の完成を目指して、順調に進んでいます。

２階：菓子製造室

○昨年１２月上旬に工事が始まってから初めて、食品加工棟の中に入ってみました。各種食品加工のための部屋には、様々な加工用の真新しい機械が配置されていました。左写真では、左奥にリフト、右奥にパン焼き機・発酵機が設置されています。その他にも１階には、冷凍庫、牛乳殺菌機、ジャム製造機などが、すでに設置されています。なお、この棟は、１階の入り口から「衛生管理区域」に入るため、食中毒等の発生を防止するために、消毒などに、かなり配慮していかなくてはならないようです。

○８日（火）から２日間、高校入試です。秀峰を目指す中学生への対応をよろしくお願いします。

＜今週のニュース＞

☆土を使わず、トマトなどの果菜類栽培・・・新技術開発着手（水俣市研究向上設立）２７日（日）
土のかわりに不織布などを敷き、フィルムの上に張った果菜類の根にチューブで水や肥料を与える。水や肥料のほか、農薬の量も大幅に減らせる。屋上や砂漠でも栽培でき、環境に対する負荷も少ない。新しい農業スタイルやブランドを確立し、地産地消に協力できる。

☆京都大学入試中、問題がネットに・・・受験生携帯で不正か　２７日（日）偽計業務妨害疑い
数学と英語の問題が、試験時間中にインターネットの「質問サイト」に投稿され、第三者が回答
同志社大学、立教大学、早稲田大学（英語）でも行なう。・・・３日（木）１９歳予備校生逮捕
※高校入試（８日・９日）において、このような事件が起こらないように、検査前に指導

☆スカイツリーが世界一に・・・電波塔初６００m超え　１日午後１時２９分に６０１mに
これまでの世界一は、中国の広州タワーの６００m
昨年１２月７日に修学旅行に２年生が行った時には、すでに５００mを超えていました。
今年の１２月完成を目指して、工事は進んでいて、最終的には６３４（ムサシ）mに。

☆値上げの春　暮らし直撃：原材料価格が高騰（食用油、コーヒー、輸入小麦、タイヤ、ガソリン）
・中東情勢の緊迫化で原油高が続く。　・食品の原料となる小麦や大豆などの穀物価格は、中国など新興国を中心とした需要拡大や主要産地の天候不順も重なり高騰。

☆“柔もの”取り付けも自動化・・・「世界初」産業用ロボット
・家電などを自動で組み立てる産業用機械で、ケーブルなど柔軟物の取り付けもできるロボット。
・ケーブルは軟らかく形状が一定でないため、人が手作業で取り付ける必要がある。新開発したロボットはセンサーを改良することでケーブルまでの距離を正確に把握し、アーム部分でつかむことを可能にした。取り付けにかかる時間は手作業とほぼ同じで、夜間なども稼働させれば、生産力の向上につながるという。

新燃岳噴火から身を守るために、ヘルメットを配付することになりました。

番号１の付いたヘルメット

○県から西諸地区の高校に、ヘルメットが支給されました。高原町から通学する生徒には、危険性の高さを考慮して、先行配付することとなりました。（文書にて、生徒に連絡）噴火活動が終息し次第、学校に返却することになります。登下校時に危険な場合には着帽。

水蒸気の雲が少し　４日昼

○３日（木）夜も新燃岳は噴火し、高原町では降灰があったそうです。４日（金）の新聞に、噴石や空振などから身を守る「被災回避行動の手引き」（コアメンバー会議）がまとまったとの記事が掲載されていました。手引では、噴煙高度２千㍍、風速１５㍍の場合、噴火に伴うこぶし大の噴石は１０㌔離れた場所に十数分かかって落下すると試算。「噴火に気付けば、被災回避行動を取ることができる。噴火時に風下にいたら、屋外に出ないなどの対策が必要」などとなっています。

＜食品加工棟の設備＞

右：パン焼き機　左：発酵機

食肉製造室の冷凍庫

牛乳殺菌機

○食品加工棟で、どんな食品が製造されるか、楽しみです。秀峰独自の製品もできる予定です。
文化祭などでの販売も実施されることになります。